

パキスタン人材の概要

駐日パキスタン大使館 社会福祉部 竹内

海外パキスタン人・人材開発省







2023年の総人口:2億4,149万人(世界人口ランキング5位) ※面積も日本の2倍



平均年齡:20.6歳(日本48.6歳)



歴史的に海外への出稼ぎ労働者が多い(非熟練労働者の96%が中東湾岸諸国)



(全) 主要産業:農業(小麦生産量世界7位) 繊維、縫製産業(世界のサッカーボールの70%)



2022年度のGDP:3765.3億米ドル (日本4兆3700億米ドル)



日本との国交樹立:1952年(72年目)



(プラスタン人の特徴)

主な特徴

言語:ウルドゥー語 + 地元の言葉(日常会話)

英語(教育、文章)

宗教:イスラム教(97%) ヒンドゥー教(1.3%)

キリスト教(0.1%)

民族:パンジャブ人(56%) シンド人

パシュトゥン人(16%) バローチ人

一人当たりGDP:1,596米ドル

日本:33,823米ドル

平均月給:163米ドル(約25,000円) ※製造業作業員

<出典:JETRO2021年度海外進出日系企業実態調查/平均值>

おまけ:日系進出企業数78社(トヨタ、本田、スズキ等)



送出機関(NUTECH)で日本語を学ぶ生徒の様子





技能実習(TITP)

技能実習制度	
政府窓口	教育•職業訓練省 Ministry of Federal Education & professional Training (MOFEPT)
二国間取決締結日	2019年2月26日
協力覚書締結日	2019年8月28日
認定送出機関	政府系2機関 民間79機関
在留者数	59人(建設、農業 等)

【日本にいる技能実習生の職種】

建設: 建設機械施工、とび

農業: 耕種農業

機械・金属:機械加工 食品製造:パン製造

その他: 自動車整備、洋服クリーニング(1年のみ)



大阪で活躍する技能実習生3名(職種:めっき)





特定技能(SSW)

特定技能制度	
政府窓口	在外パキスタン人・人材育成省 Bureau of Emigration & Overseas Employment
二国間取決締結日	2019年12月23日
送出体制	窓口は上記の在外パキスタン人・人材育成省
認定送出機関	2000を超える認定海外職業紹介事業者を通して、または労働者直接応募
技能•日本語試験	2024年中に農業1号農業技能測定試験の実施を検討中(農林水産省)

【パキスタン国内で特定技能1号評価試験の実施が急務】

- ▶ 特定技能での就労を目指す人はスリランカ等の第三国 で試験受験が可能
- 技能実習1号のみで来日後、実習修了後に特定技能に 移行可能



海外パキスタン人・人材開発省





・ 外務大臣の来日

2023年7月、岸田首相及び林外務大臣(当時)を訪問し、今後パキスタンから人材の送り出しを活発化させていくことを報告し歓迎された。これが、パキスタン国内で大きく報道され、日本行きを目指す若者が更に増えた。







(学) 宗教的な配慮について

≻どのくらい厳格か

ロインドネシア人との比較(ヒジャブの例)

▶お祈り

- □基本1日5回だが、就業時間外に可能
- ▶ラマダン(断食期間 約1カ月)
 - □必要に応じて水分摂取と食事

≻食事

- □豚肉食べない
- □ハラル肉はネットやハラル食材屋で調達

>アルコール

- □飲む人はほぼいない
- >他国籍の実習生との共同生活
 - □インド人含め問題なし
 - □調理器具は別に準備

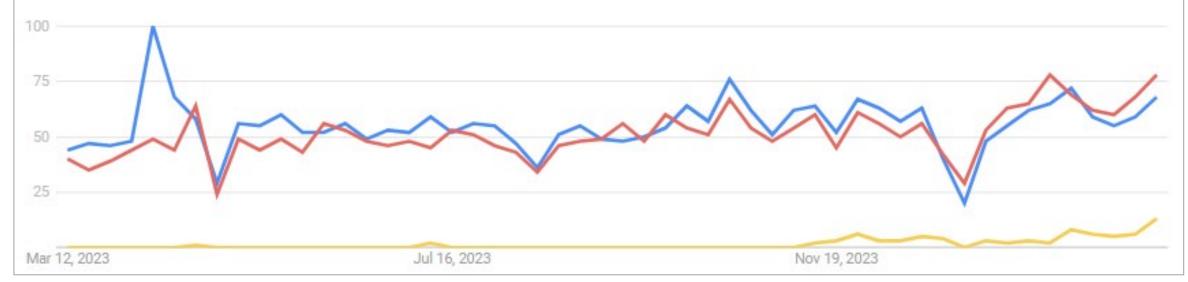
≻NGな職種

□豚肉、アルコール以外の味見以外問題なし



Google検索回数の推移





海外パキスタン人・人材開発省





なぜパキスタン技能実習生を検討すべきか

- ▶人材のスキルの高さ
 - □技能実習生だけど特定技能レベル
- ▶日本語能力の高さ
 - □多言語国家からくる上達の速さ
- ≻安定した人材確保が可能
 - □若い人口の多さ、経済格差、日本への憧れ
 - □送出国の多角化に対応

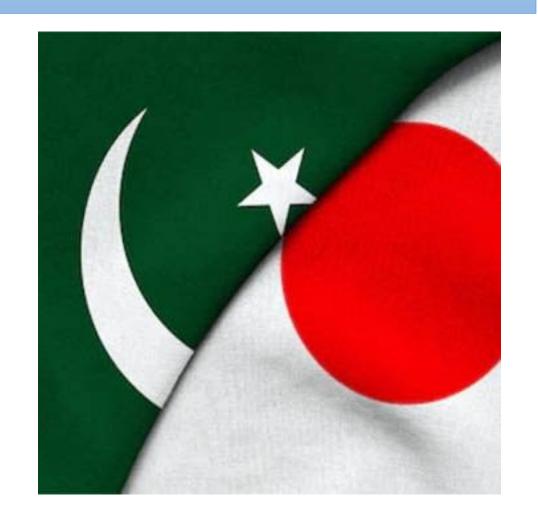
- ▶イスラム教徒であること
 - □イスラム教の行動規範(笑顔、思いやり、勤 勉、ルール順守)
- ▶技能実習生から徴収する費用の低さ
 - □15万ルピー(8万円程度)以下
- ▶パキスタン人の親しみ易い性格
 - □家族思い、友達思い、恩を受けたら返す



じパキスタン人材をもっと知るために

- ▶大使館との個別ミーティング
 - □送出機関の情報提供
- ▶日本在住ウルドゥー語通訳に聞く
 - □パキスタン人材の支援に関わりたい人は多い(大 使館からご紹介可能)
- ▶実績のある企業、組合に聞く

□この後、ご登壇





ご清聴ありがとうございました

駐日パキスタン大使館 社会福祉部 03-3445-6813 (直通、日本語可) tokyocwa@gmail.com